

3年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取り組み）	成果と課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 既習漢字の定着を図る必要がある。 自分の考えを表現することに課題があるため、語彙を増やす必要がある。 相手を意識して、読み手に分かりやすい文章を書く力を付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の家庭学習で練習を重ねる。小テストで実態把握し、間違えた漢字の練習後再テストをして定着を図る。 授業中にいつでも国語辞典を使えるように一人一冊貸与し、自発的に使い方を習得しながら、意味が分からない語句やその周辺の語句も学ぶ活動を行う。 読み手が理解しやすいように、事柄ごとに材料を分類、整理し、伝えたいことを明確にする。書いた文章をペアで確認するなど、振り返る場を設定する。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地図上での位置関係を四方位を使って表すことに課題がある。 調べたことをまとめて分かりやすく表すことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室の四方位が分かるように掲示をして感覚を掴み、地図記号とともに方位の見方を繰り返し学習する。 新聞作りやパンフレット作りなど、調べたことをまとめる時に例を挙げたり、児童同士で見合い話し合う場を設定したりして、分かりやすく表す力を養う。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎計算の確実な定着、時刻や時間の計算や長さの単位換算について課題がある。 式や図などを用いて、根拠を明らかにしながら自分の考えを表現する力を伸ばしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジタイム等の時間を活用し、繰り返し問題に取り組み習熟を図る。 自力解決の際に、図や数直線、言葉などを使って考えの根拠をノートに書き、自分の考えを話す活動を行う。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験から想起して課題設定や学習の見通しをもつことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事象や日常生活で経験した現象をいくつも挙げさせることにより、学習の見通しを立てやすくする。また、実験をしてその中から新たな学習課題を考える活動を入れ、生活の中での理科での見方・考え方を働かせるようにしていく。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音色や拍の流れ、旋律の動きなどを聴いて捉え、言葉で表現することに課題がある。 曲想を表す語彙を増やす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴き取ったことを音楽の要素ごとに分けて、言葉で表す活動を積み重ねる。言葉カードを提示して、選びながら表せるようにする。 聴き取ったことをもとに、感じ取ったことをグループや全体で話し合う活動を積み重ねていく。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> 題材、めあてに即した工夫を考えられるような手だてを講じる必要がある。 それぞれの材料に適した描画材や接着方法を選ぶなど、仕上げの丈夫さや美しさのために道具を使い分ける力を育てる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の課題や特性にあわせて言葉をかけ、それぞれのペースでの基礎基本の定着を図る。 幅広い材料や道具を扱えるよう、単元の前半に造形遊び等を取り入れ、道具に慣れ親しむ時間を確保する。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> めあてを立てたり、めあてに即した方法を考えたりする学習を身に付ける必要がある。 体を動かす時のポイントを意識して運動することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードを活用して自分の課題を確認する。多様な手立てを用意し、選択する経験を積む。 ICT機器を活用し手本の動きのポイントを見たり、自分の動きと比較したりできるようにする。児童同士見合い、ポイントを見付けたり、アドバイスし合ったりする。 	